

城山校区・高橋校区の これからを考えるワークショップ - 第3回実施結果 -

日時：令和6年2月29日(木) 19:00~20:30
会場：西部公民館 大ホール
参加者数：24名(自治会、地域事業者、高校生等)
目的：持続可能なまちづくりを目指し、地域の将来イメージを多世代で共有し、実現に向けたアイデアを考える。

<プログラム>

将来像イメージの確認

これまでの取組を振り返り、取組成果を反映したイラストマップを使って、地域の将来像イメージを確認していきました。

将来像イメージの実現に向けたアイデアソン

第1回で考えた「地域の残したいもの・活かしたいもの」と、右図の「将来像イメージ」から特に深掘りしたいものをグループ毎に3つずつ選び、それぞれを掛け合わせながら実現するためのアイデアを考えました！



<参加者の声>

アンケートより一部抜粋

Q ワークショップ全体を通してのご意見や感想

- ・自由な発想で世代を越えて議論ができ有意義だった。
- ・この地域を良くしたいというみなさんの思いが伝わってきた。ぜひ、今回出たアイデアを実現したい。
- ・高校生の考えや校区外の方の意見も大変参考になった。
- ・できるかできないか、いかにして実現していくかという考えを深めることができた。
- ・この地区がモデルケースとして理想を実現し、10年、20年と続くものができればと思う。
- ・地域の課題に対して何らかのアクションを起こしたい人に行政側で背中を押せる取組があればよいと感じた。

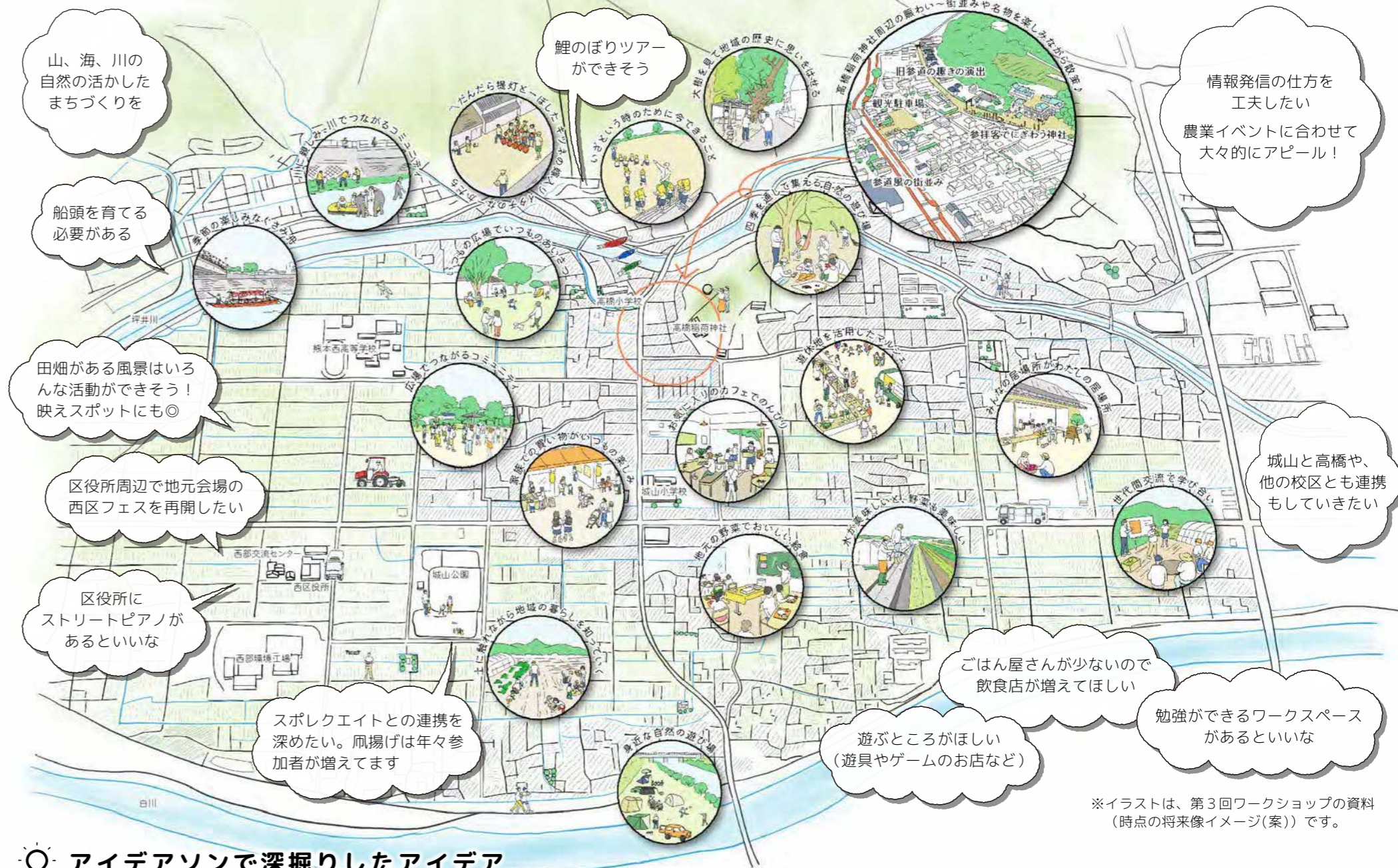
Q 今後取り組んでみたいこと

- ・若い人達の参加や意見を聞いていける場づくり
- ・地域の方々と多世代交流や異業種交流
- ・地域が盛り上がるような行事、こどもを含めた体験ができるイベント(もちつき大会、お祭りなど)
- ・学校と地域を組み合わせた活動
- ・カフェを利用してのまちづくり、場所の使い方
- ・世代を越えたプログラミング教室(いずれは地元役に立つサービスを展開)

意見交換
結果

城山校区・高橋校区の将来像イメージと実現アイデア

地域の資源を活かして将来像イメージを実現するためのアイデアを考えました！



アイデアソンで深掘りしたアイデア

顔の見える関係を築ける憩いのカフェをつくる！

- ・地元の人や学生も気軽に入って来られるお店に
- ・だんだら提灯や夏祭りなどのイベント時にカフェを出店
- ・店主は呼びかけて募集
- ・イベント出店を継続して集客しながら、ゆくゆくは空き家をリノベーションして常設に

学生のアイデアで城山・高橋の名物を生み出す！

- ・西高生が中心となって名物となる食べ物を考える
- ・学校や地域内の店舗、空き店舗などで販売
- ・プロジェクションマッピングやマインクラフトなどで地域の良さを知ってもらう取組も実施
- ・全学年が参加できる部活をつくって持続的な活動を展開

多世代をつなぐまちづくりを

- ・知名度のある高橋稲荷神社で、集客力のある初午大祭に合わせて、地域の伝統行事や名産を知ってもらう機会や多世代・異業種人材の交流の機会を創出
- ・いろんな人を巻き込んでマルシェを開催
- ・部活動や習い事の発表の場にも
- ・異業種人材を絡めた実行委員会を発足

遊休地を活用して野菜マルシェを開催

- ・農家さんの協力を得て、学校と連携し、こどもたちが野菜を育て、収穫から販売まで体験
- ・大人たちは野菜BBQやビアガーデンを楽しむ
- ・スポンサーを募ったり売上を繰り越したりして継続的に実施
- ・行政と地域が協力し、より良い形へ

坪井川で”恋のぼり”

- ・カップルでボートに乗って鯉のぼりを鑑賞
- ・待ち合わせは高橋小学校にして童心に戻る
- ・校区内を散策したり、周辺店舗では手軽なグルメを提供
- ・イベント前にはボランティアで川辺の清掃を
- ・運営を担う城山高橋盛り上げ隊を発足
- ・地元をPRしながら事業化を目指す

※イラストは、第3回ワークショップの資料(時点の将来像イメージ(案))です。